

2007 年度

科目名 心理学	対象学科・学年 文学部日文1 回生 文学部英米1 回生 文学部文財1 回生 文学部コミ1 回生	担当者 広沢 俊宗
授業テーマ 人間の行動と心理、および人間関係の心理学		
授業の概要と目標 現代人の生活領域が拡大し、それに関わる要因も複雑多岐に渡っている。そういう中で人間の行動について考えることによって、その根底にある心の動きを解明していきたい。具体的には、「Ⅰ. 心理学とは」「Ⅱ. パーソナリティ」「Ⅲ. 発達」「Ⅳ. 学習」「Ⅴ. 出会いの心理学」「Ⅵ. 対人魅力」「Ⅶ. 親密な人間関係」「Ⅷ. 対人コミュニケーション」「Ⅸ. 幸福感と人間関係」の9つのテーマについて講義する。		
評価方法 出席状況、受講態度、小レポートなどの平常成績(20%)と前期試験(40%)、後期試験(40%)をあわせて評価する。なお、授業を1/3以上欠席すると、期末試験の受験資格を喪失するので注意すること。		
テキスト 『ワークショップ 心理学』 『JOHO—CAB 検査』 『ワークショップ人間関係の心理学』	著者 藤本忠明他 適性開発研究会編 藤本忠明他	出版社 ナカニシヤ出版 情報センター ナカニシヤ出版
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1.心理学とは 心理学とはどのような学問かを、その研究領域の広さと様々な研究法から理解する。 2.パーソナリティ (1) パーソナリティとはどのようなものか、また、その形成—遺伝か環境か—について学習する。 3.パーソナリティ (2) クレッチマーの性格類型論をもとに、類型論の考え方を理解する。 4.パーソナリティ (3) CAB検査を体験することによって、特性論の考え方を理解する。 5.パーソナリティ (4) さまざまなパーソナリティの測定法について概観する。 6.発達 (1) 発達とはどのようなものかを生涯発達の視点(女性のライフサイクル)から学ぶ。 7.発達 (2) 発達の原理について理解する。 8.発達 (3) 人間の一般的な発達段階と発達課題について学ぶ。 9.発達 (4) 青年期の意義と特徴について学習する。 10.発達 (5) 発達の諸相について学習する。 11.学習 (1) 学習とはどのようなものかを遂行と比較しながら学習する。 12.学習 (2) 古典的条件づけのメカニズムを理解する。 13.学習 (3) オペラント条件づけのメカニズムを理解する。 14.学習 (4) 学習性無力感とはどのようなものかを理解する。 15.前期試験 今までに学んだ内容の理解度を確認し、心理学について再考する。 16.人間関係の心理学 人間関係を社会心理学の視点から考察する。 17.出会いの心理学 人と人との出会いについて、対人認知の視点から考察する。 18.対人魅力の心理学 (1) 対人魅力の規定因である近接性、単純接触の効果、身体的魅力について学習する。 19.対人魅力の心理学 (2) 対人魅力の規定因である類似性、相補性、好意の返報性について学習する。 20.対人魅力の心理学 (3) 好かれる人・嫌われる人の特徴について考察する。 21.親密な人間関係 (1) love と liking について概観する。 22.親密な人間関係 (2) 愛情の構成要素、愛情の類型について学習する。 23.親密な人間関係 (3) 恋愛の成立と進展に関する理論について学習する。 24.親密な人間関係 (4) 青年期における友人関係と孤独感の構造について考察する。 25.対人コミュニケーション (1) 対人コミュニケーションとそのプロセスモデルについて概観する。 26.対人コミュニケーション (2) 非言語的コミュニケーションとその構成要素について理解する。 27.対人コミュニケーション (3) 効果的なコミュニケーションについて、聞き上手の観点から解説する。 28.対人コミュニケーション (4) 効果的なコミュニケーションについて、話し上手の観点から解説する。 29.幸福感と人間関係 グループワークにより主観的幸福感の規定因を探る。 30.後期試験 今までに学んだ内容の理解度を確認し、心理学について再考する。		